

1. 開催日 平成29年10月19日(木)
2. 開催場所 株式会社ニューメディア 大会議室
3. 委員出席
  - 委員総数 5名
  - 出席委員 6名
  - 出席委員 今村元一、加藤剛士  
竹田広幸、窪村郁子、齊藤幸恵
  - 放送事業者側出席者 小松久弘(常務取締役総務部長)  
伊藤優子(取締役米沢副センター長)  
松田典子(メディア企画部 課長)  
渡部剛士(CCSスタジオ 専務取締役)  
金 順治(CCSスタジオ 制作課長)  
鈴木朗子(CCSスタジオ 制作係長)
4. 議 題
  1. 会社代表挨拶
  2. 御審議
  3. 報告
5. 議事の概要
  1. 開会
  2. 御審議

M o r n i n g クローバー+ (プラス) ボヘミアン・ブランチ

放送日時：隔週 金曜日 午前 9：10 ～ 生放送

3. その他
4. 閉会

## 6. 審議内容

### A委員

- ・個性的な選曲が多くて、話しが面白く、全体的にストレスなく聞けた。
- ・万人受けはしないと思うが、良い番組だと思う。

### B委員

- ・パーソナリティが難しい話題を上手くかみ砕いている。
- ・心理学の知識は、もう一步踏み込んだ内容まで聞きたいと感じた。

### C委員

- ・カタカナ言葉が多くなるが、それをわかりやすく解説していて良い。
- ・選曲がおしゃれ。
- ・心理的な悩みを持っている人が聞く時間を考えると、夕方や夜に放送しても良いのでは。

### D委員

- ・ラジオの中でも通る声が印象的。
- ・山田さんの心理学的な話を止める、玉真さんのジョークは良し悪しだ。
- ・玉真さんが特徴的な人だというのが伝わって、引き付けられる。
- ・朝の時間帯なので、下ネタは遠慮したほうが良いのでは。

### E委員

- ・2人の掛け合いが絶妙で、参考になる話が多い。
- ・脱線して、話の腰が折れそうになるが、また戻ってくる感じが絶妙。

### B委員

- ・「嫌な事はしなくていい」など、例えが当事者にとってマイナスに受け取られる場合がある。誤解を与えない表現に配慮してほしい。

### A委員

- ・誤解を与えてはいけませんが、表現を過度に制限するのもよくない。バランスが難しいが、恐れずにやってほしい。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容

- ・内容が誤解して伝わらないように、例え話や表現により一層配慮する。

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

平成29年10月24日（火） FM生放送で公表

平成29年10月24日（火） 自社ホームページに掲載

9. 次回の番組審議会開催予定

次回は平成29年12月21日（木）に開催予定

※平成29年11月は休会